

□■養成所ニュースプラス第3号 2024□■

6月5日は「世界環境デー」でした。1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められました。日本では環境基本法で「環境の日」を制定し、環境庁は6月を「環境月間」とし、環境の保全に関する普及・啓発のため、全国で様々な行事が行われています。

今週のレポート作成講座は「事例を取り上げる意味」についてです。Plus Quizは「社会理論と社会システム（現、社会学と社会システム）」から「SDGs」に関する問題です。選ばなかった選択肢のどこを直せば適切になるかも重要です。あわせて考えてみましょう。

*過去問については、今回から旧科目名と新科目名を併記します。

■Plus Quiz

【第36回問題15】持続可能な開発目標（SDGs）に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. 1989年にアメリカのオレゴン州で策定された、行政評価のための指標である。
2. 生活に関する八つの活動領域から構成された指標である。
3. 貧困に終止符を打つとともに、気候変動への具体的な対策を求めている。
4. 1995年より毎年各国の指数が公表されている。
5. 貨幣換算した共通の尺度によって、一律に各指標を測定する。

正答と解説は最後に記載してあります。

■Yoseijo Info

- ・(35期生) 教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）の支給希望の方へ
申請書類一式は原則として、再発行はできませんので、お取り扱いにはご注意ください。
本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。
- ・(36期生) 教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）の支給希望の方へ
「受給資格者証と公的身分証明書のコピー」の提出をされていない方は、早急に提出してください。
- ・(36期生) 見込書類（実務経験証明書）のさしかえについて
入学願書提出時に「実務経験見込証明書」を提出している方は、入学資格または実習免除を満たした期間の「実務経験証明書」の提出が必要となりますので、早急に提出してください。
- ・受講の手引の表紙裏（表紙の次のページ）に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。
レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。

■Test Info

国家試験に関する情報をお届けします

- ・第37回国家試験は、令和7年2月2日です。←New
概要はこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1295003&c=3246&d=99c7>
受験申込手続き（予定）はこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1295004&c=3246&d=99c7>
- ・第37回国家試験から適用する社会福祉士国家試験合格基準並びに総試験時間数が公表されました。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1295005&c=3246&d=99c7>
- ・日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催の全国統一模擬試験のご案内です。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1295006&c=3246&d=99c7>

■Plus Info

その他の情報をお届けします

・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1295007&c=3246&d=99c7>

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1295008&c=3246&d=99c7>

■Plus Column

【レポート作成講座第3号／事例を取り上げる意味】

レポート課題には、事例を挙げて「あなたの考え」を述べるように指示がある科目があります。当養成所で学ぶ9割以上の皆さんは、何かしらの相談援助業務を経験しています。また、実務経験のない皆さんは、これから実習を経験することになります。その経験に向き合い考察することはとても大事です。では、なぜ、レポート課題で事例を挙げて論じることが求められるのでしょうか。

第1には、事例と積み重ねた知識や技術に関連付けることで、学びを更に深めることができます。第2には、皆さんが課題と感じている事例を挙げることで実践の整理となり、今後の実践に反映できるからです。第3には、暗黙知である事例を言葉で表すことで、記録作成や実践報告の場で説明ができるようになるからです。

特に、自身の実践を事例にあげる場合、とすると主観的になりがちです。学んだ知識を活用し考察することにより、実践を客観的に捉えることができます。事例を取り上げる場合は、個人や施設・事業所を特定されないように工夫をすることや全体のバランスを考え簡潔に述べることも重要です。意識していきましょう。

【Plus Quiz 正答と解説】

持続可能な開発目標（SDGs）は、2015年の国連持続可能な開発サミットで採択された国際目標です。17の目標、169の指標から構成されています。SDGsは、共通科目テキスト3第2章第7節4「持続可能性」、第4章第1節2「ジェンダー平等」、第4章第3節2「ディーセントワーク」で取り上げられています。

2021年、国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）は、ソーシャルワークと国連のSDGsについてのポリシーペーパーを採択しました。ソーシャルワークはなぜSDGsを支持するのかという点について明確にしています。一度、目を通してみましよう。

「社会学と社会システム」では、新しい出題基準としてSDGsを含む「環境」についての項目が追加されました。特に、第2章第7節は読んでおくことをお勧めします。

SDGsは「現代社会と福祉」（現、社会福祉の原理と政策）の第32回でも出題されています。共通テキスト4「社会福祉の原理と政策」第7章第1節6では開発目標の詳細が示されています。

1. ×SDGsは、2015年に国連で採択されました。選択肢は、オレゴン州政府の長期総合計画「オレゴン・シャインズ」にあたります。
2. ×SDGsは、社会、経済、環境から捉えられる17の目標とそれを細分化した169の指標により構成されています。選択肢は、日本の新国民生活指標の説明です。
3. ○SDGsでは、目標1「貧困をなくそう」、目標13「気候変動に具体的な対策を」が設定され、2030年までに達成することが目指されています。
4. ×SDGsは、2016年から2030年までの目標です。2017年に国連でグローバル指標の枠組みが承認され、毎年6月に「持続可能な開発報告書」の中で公表されます。
5. ×SDGsでは、貨幣換算した共通の尺度で一律に指標が測定されているわけではありません。それぞれの目標に個別の指標や手段が設定されています。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus